

令和7年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	特定非営利活動法人プラットフォーム		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	子どもと若者の図書館「衣笠駅徒歩1分図書館」		
事業の目的	すべての子どもに必要な情報と安心できる場所を提供することを目的とする。		
事業概要	<p>【対象】横須賀市、葉山町、逗子市、三浦市に住む0～25歳の子どもと若者。不登校、障害、貧困、ひとり親、ヤングケアラーなど困り感が身近な子どもも、そうでない子どももすべて等しく対象とし、他人では気付けない・本人も気づいていない困り感がある子どもも対象に内包する。また、子育てをしている養育者も受け入れる。</p> <p>【日程】通年にわたり、週3～4日不定期で開館</p> <p>【会場】横須賀市栄町2-6-6</p> <p>【内容】誰でも自由に過ごせる私設図書館、約3000冊の本を所蔵。地域の子ども・大人・子育て中の親子が本を読んだり、おしゃべりをしたり、親子サロンを開いたり、思い思いに過ごすなど利用。無料の学習サポートを実施。夜間中学を実施しているボランティア団体が定期的に利用をし、不登校の小中学生・母国語が外国語の方への学習サポートを行った。</p> <p>【ワークショップ】</p> <p>子どもが無料で参加出来る連続ワークショップを開催。地域の人がせんせい役になり、得意なことをみんなに教えてあげる多世代交流の機会。子どもがせんせいやくになり、手話やお話し会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 目的：多世代交流、学校では学べないけれど生きるのに役に立つことを学び合う ● 対象：0～25歳の子どもと若者、大人 		
成果や課題	<p>【成果】開館時からの常連の子どもや大人が途絶えることなく関わりを深めているからこそ、子どもそれぞれの大きな変化も見守れる受け皿にもなっている。これにより、日々の変化に気付くことが出来、トラブルや悩みなどに自然な流れで関わる事が出来ている。【課題】子ども達の変化の受け皿になれている分、状況に則した関係者間の情報共有の仕方を改めて検討する年となった。幸い大きなトラブルは無く運営をすることが出来ているので、継続的な体制をつくっていく。</p>		
今後の展望	図書館を拠点に、全国でも珍しい子ども向けの訪問看護事業として立ち上げた。今後は、図書館（居場所）×訪問看護（アウトリーチ、医療支援）という支援モデルの確立を目指すこと、また、訪問看護事業の収益から一部を図書館の運営費に充てるなど、資金面の自立化も図っていく。		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	  		